

安南國文書
典臣氏諸大名血判折紙

辰野資料
イ 4
3153
C 37



麻田章

荻野藏

杏堂

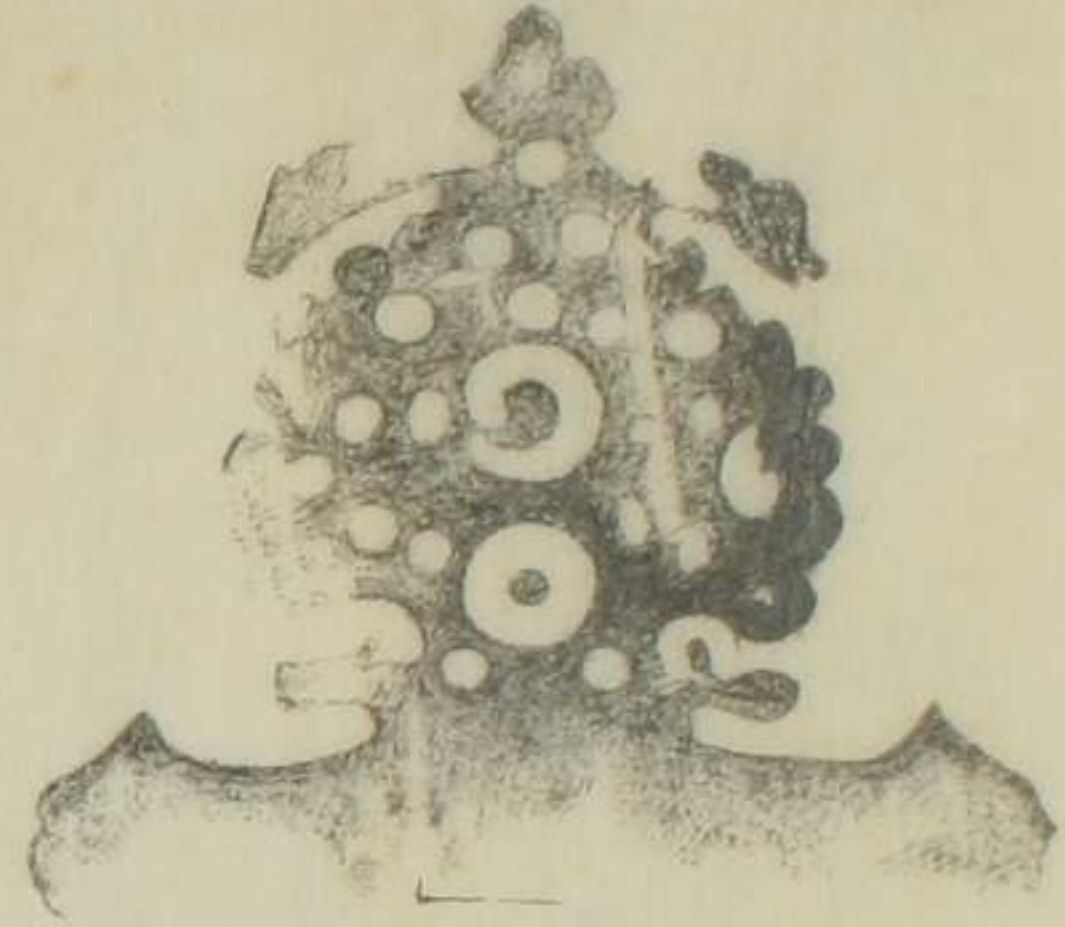
五

安南國揚武威勇幼臣錦衣衛都指揮使司都
指揮使署衛事駙馬都尉廣富侯郡主有

日本國船客高壽於己酉年六月十七日給養又左
衛門至庚戌年四月十九日迺回本國茲憑

弘定十一年四月十九日

懋



(裏)

謹封

日本國慶長拾伍
更戌年冬十二月二十九日

謹封

謹封

(表)

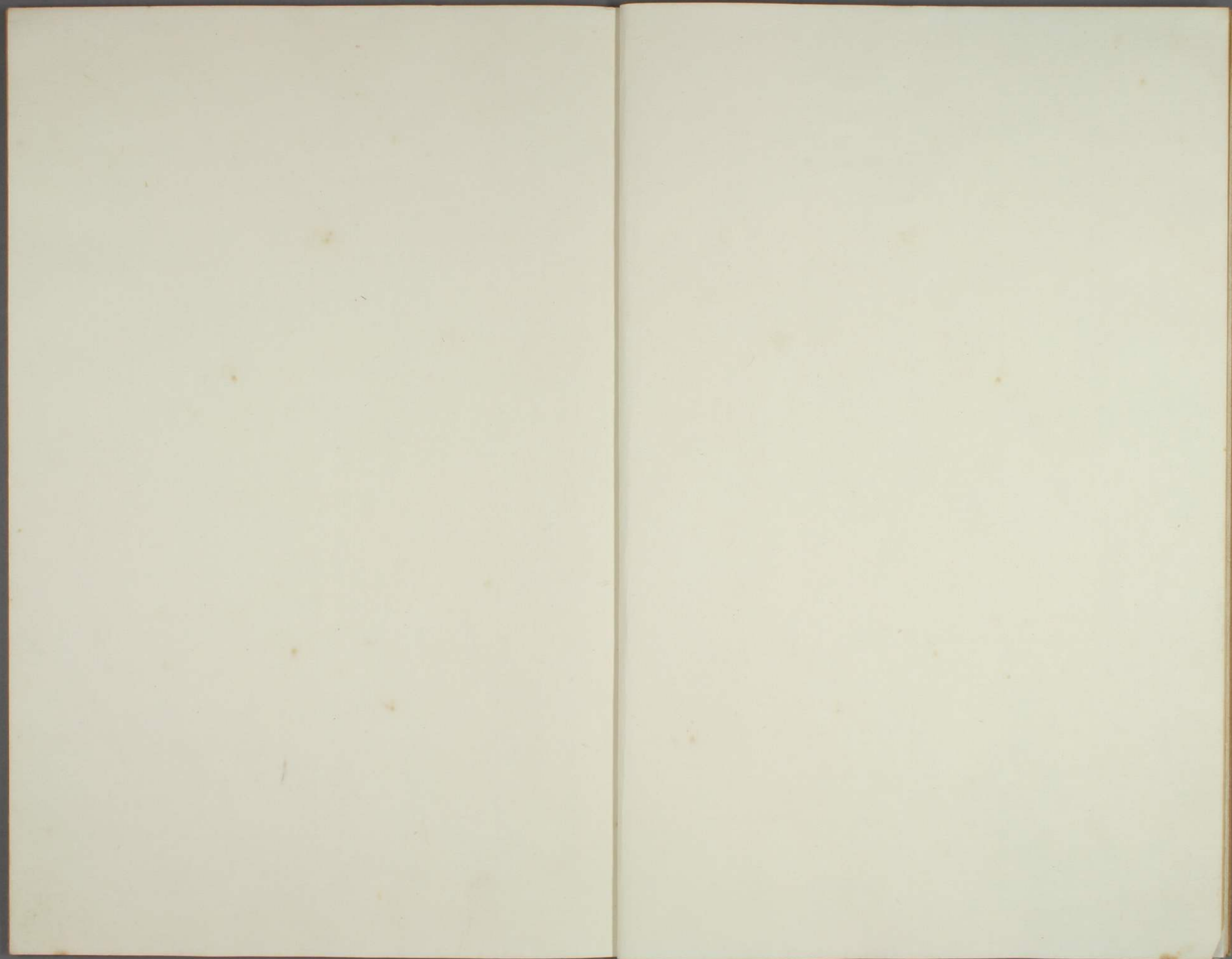
謹啓書

安南國將監文珪侯

白見代似司貞



麴所出 高橋琢也所藏





致賀太尉共社と為起清久又前書事

一 沖田方、様、封、奉り、所、表、裏、別、心、と

石存、沖、為、口、此、松、波、立、獲、取、奉、云、一、口、と、り

一 沖田方、様、と、此、津、路、と、お、大、同、様、と、書、目

お、留、り、の、ふ、と、是、の、飛、達、お、為、と、親、し、い、書、目

と者と云々他は... 此の刻誰の... 字のくま... 一

一 大園様... 一 法... 一 大園様... 一 法... 一 大園様... 一 法...

一 法... 一 大園様... 一 法... 一 大園様... 一 法... 一 大園様...

一 法... 一 大園様... 一 法... 一 大園様... 一 法... 一 大園様... 一 法... 一 大園様...

あし野原原に於て我が身を先づは白癩思ふ疾のま
病をうけいらはるゝは七代まんとつゝまんとおま
世々阿鼻に言ら地獄に悟れ 幸甚なり
浮世にうきまきくまやの首書は

文禄三年七月廿日

(以下牛王)

敬白天四討靈社上卷起請文之夏

謹請散供再拜々々惟當來_乙歲年号者文祿_乙未_乙歲月並者十二ヶ月
日数者三百五十余ヶ月換吉日良辰而致信心請申大施之主等謹
奉勸請掛忝上者梵天帝釈四天王豹尾黃番歲德釋迦善逝
釋提桓因奉始日光菩薩月光菩薩七曜九曜共宿三千日坐宿
劫四天八天十二天廿三天十二神將亡千夜又廿八部第六天魔王
聖主天此之世六會百億須弥百億梵天帝釈百億鉄圍山百億大
鉄圍山百億弥勒山百億摩訶弥勒山百億日月百億梵釈四王百億
諸天百億天象百億大人百億天女百億童子百億大力夜叉

百億惡鬼百億天上百億閻浮提内十六大國五百中國十千小國
無量已來散国之中示顯現大小神祇上者有頂天下者到金
輪在佛神_ヲ悉_ヲ驚_ヲ自言下者堅牢地神八海_ヲ接_ヲ竜王竜象衆師
如来閻魔法皇十五十_ヲ俱生神太山存君司命司祿冥官
冥象有情無情元辰星南斗北斗星日曜星月曜星破軍
星羅喉星計都星巨文星明星七夕星四三星八系星本余
星四方四佛五方五佛大聖摩利支尊天一神太白神大歳神八
請神十二月將神天葬神地葬神阿豆智神天神地神山神
海神木神大神土神金神水神風神諸神諸菩薩諸善神東方
降三世明王南方軍荼利夜叉明王西方大威德明王北方金剛
夜叉明王中央大日大聖不動明王大黑尊天毘沙門天王大弁才女
宇賀神十五童子三寶荒神多婆羅天王武峇天神頗利_ヲ采女

蛇毒氣神五王子八方四千六百五十余神金剛眾七百餘尊胎藏
眾五百餘尊金剛藏王冕地帝王大聖金剛童子普天率土凌際
明王妙見菩薩過去現在未來三世諸佛一萬八千軍神二萬八千
軍神三萬八千軍神四萬八千軍神五萬八千軍神六萬八千軍神七萬
八千軍神八萬八千軍神九萬八千軍神十萬八千軍神等二萬燈明佛
二萬燈明佛三萬燈明佛文殊普賢觀音勢至十六善神八萬四千夜叉
神忝日域崇朝天照皇太神宮四十末社內宮外宮風宮諸末社八幡
大菩薩春日大明神王城鎮守山王女一社根本中堂藥師亦來
立塔諸堂諸房之本尊薩埵祇園牛頭天王松尾大明神平野
大明神吉田立田執田大明神大原野大明神福荷大明神賀茂下
上大明神貴布祓大明神北野天滿天神三輪大明神住吉大明神

三十番神若一王子志安岩岩四所權現熊野三所權現十二所權現
九十九所權現廣田大明神五帝王子山內諸神金峰山權現吉備
宮大明神對馬明神天王羽黑山大權現葛城大權現客之藏王權現
子守勝手大明神丹生大明神柵宮大明神法華七八品三藏
法師鞍馬山思汝門天王吉祥天女兩室立里子別者關東守護
神伊豆箱根兩所權現三嶋大明神鹿嶋大明神富士大權現
白山妙裡權現立山大菩薩誼方上下大明神出雲大社大明神
多賀大明神殊者氏神御靈八所大明神摠而大日本國中
六十六ヶ国大社二千小社五百九十二所大小神祇等地藏菩薩龍
樹菩薩虛空藏菩薩旃檀香菩薩大病神八万回子鬼神
大恩歲破神天蘇神大疫神廣己神太歲神夜鬼神生鬼神
土神妙鬼神六百五十余神金山六十万鬼神刀八毘沙門天王

父天狗母天狗大郎房眷属九億四万三千四百九十余神是宇口
 房次郎房八万四千眷属等飯繩大明神四十四万一千眷属大
 天魄三万三千小天魄三万三千眷属智羅天狗十二天狗等
 摠而大日本山之峯々嶽々而居住之大天狗小天狗等正路之旨
 照鑑給、若此旨偽有之者於今生者受白癩黑癩之重病八
 万四千く毛孔四十二之骨節苦痛与止深厚此家御討了矢宜加
 未代尽佛神三宝虽有所不可叶於後生者墮在阿鼻無間
 地獄虽経末永劫不可有厚夏仍而靈社上卷起請文如件

文祿四乙未七月廿日

羽軍左衛門尉

羽軍左衛門尉

羽軍左衛門尉

羽軍左衛門尉

羽軍左衛門尉

羽軍左衛門尉

羽衣若隱若現

羽衣若隱若現

羽衣若隱若現

羽衣若隱若現

羽衣若隱若現

羽衣若隱若現

羽衣若隱若現

羽衣若隱若現

羽衣高砂屋

羽衣高砂屋

羽衣高砂屋

羽衣高砂屋

羽衣高砂屋

あきつね

羽衣高砂屋

羽衣高砂屋

羽衣高砂屋

羽衣高砂屋

羽衣高砂屋

羽衣高砂屋

羽軍義家為記

羽軍義家為記

常吉

高部中務少輔下
氏久少輔下
富田方左衛門尉
增田左衛門尉

石田清子為記
長年之親友為記

木下子爵所藏

